

【アウトバウンド】

- ・公演で多い時は2千人規模のホールで外国人が約1割で、さらに伸びればいいが、それはインバウンドである。逆にアウトバウンドという話で、海外から頻繁に招聘等があり、中東、欧州、アジア等で公演した。
- ・国際的に日本の地位が低下している昨今、文化芸術団体としてやれることをやり、日本ファンを増やし、日本を支持する人が増えれば、日本の国際的なプレゼンスも高まる。
- ・新宿区で**アウトバウンド的なアピールができるもの**があってもいい。これ、みたいな何かが国際的にあれば、随分違うのではないか。
- ・長岡市の芸術文化財団が、オペラを制作し、市内上演後にエジンバラで引越し公演をしたように、外へ持っていくものを考えられればいい。

【対話型鑑賞】

- ・芸術では、好きな方は勉強して詳しいが、まずは接して感じていただく。その鑑賞者の心の中で起こるものを体験する機会を提供するのが、鑑賞者の観点からは一番重要
- ・展覧会で大人の対話型イベントをやるが、すぐに枠が埋まり、リピーターも多い。美術に限らず話を聞きながら芸術に触れたいというニーズは一定以上ある。
- ・美術館来館経験を体験型鑑賞参加者（小学4年生中心）に聞くと10%未満で、子育て中の保護者が多分美術館に行かないから、子どもも来ない。
- ・多様性の中でしっかり自分の意見を言えて、自分で考えて行動できるのが、一般的にグローバルな人材として重要なポイント。答えのない芸術の世界では意見を言えることが重要で、子どもの教育上也非常に重要
- ・対話型鑑賞をして意見を聞くと、小学3年生、4年生ぐらいの子が「自分と違う考え方をする人がいるんだな。面白かった」みたいなことを話す。
- ・新宿区は美術館もあり、**対話型鑑賞みたいなものを進めていければ**、よりお互いのことを理解できるよい区になり、外から見ても魅力的な区になるのではないか。
- ・**対話型鑑賞やアートを高齢者の社会的孤立や認知症の予防につなげる共同研究、ワークショップ**等がある。
- ・対話型が認知症にもすごく効果的なので、ぜひ取り組んでもらいたい。

【地域移行】

- ・ここ3年ほど文化庁が中学校部活動の地域移行に取り組み、東京都も全区市町村対象のシンポジウムを開催した。
- ・地域にスポーツ協会等があるので、スポーツは地域移行がかなり進行している。最大の問題は学校教科で、芸術では音楽と美術だけがある。
- ・新宿区も、伝統芸能から現代芸術まで多彩な名誉区民がおられ、劇団やオーケストラがあり、小さい文化施設も多いので、地域に文化活動の拠点をいっぱい作る。**多様な新宿区だからこそ、区内でも特徴ある部活動の移行のモデルを示せる**のではないか。
- ・発信が中心になっていたので、地域で特色ある文化の地固めをするのもそろそろあってもいい気がした。
- ・文化施設、地域移行とも、誰がコスト負担をどうするのか等大きな問題があると思う。

【新宿文化センター】

- ・新宿区の文化の拠点は新宿文化センターだと思う。新たな時代に向かっての事業展開又は運営方針みたいなものを中心に考えたらどうか。他区と違うものを展開することで、差別化ができていく。
- ・今、実演芸術界の大きな問題は、国立劇場の休館。国立劇場でやっていた演目が、浅草公会堂、日本橋劇場や他の文化施設に流れて、施設の取り合いにもつながっている。
- ・東京文化会館や神奈川民ホールというオペラ、バレエを上演できる大きなホールが来年から閉まるため、新宿文化センターにも公演が集中していく。
- ・新宿文化センターは**音楽・舞踊を重点にする方針を決めているので、バレエ団やダンスカンパニーが集まるのはいい**。それなりにいいポジションを確立できる数年間になるのではないか。
- ・今後いろいろな施設が改修に入るが、東京はもう1つ大きい劇場があってもいいと思う。実はそのぐらいのニーズはある。

【その他】

- ・コロナ禍では文化芸術不要不急論が話題になったが、文化施設の再開後のお客様アンケートにかなり感動した。「開館してもらってありがとう」という感謝が一番多かった。**文化芸術はとても大切で、不要不急論は吹き飛んだ**。
- ・博物館関係は、障害者の方と付き添いの方1名まで無料な館が9割以上のイメージがあり、行ける環境にあると思うが、例えば混雑時の車椅子動線等が課題。国立系は車椅子動線は結構整備されているが、新宿区の施設では整わないケースは多い感じがあるが、そのために施設を大規模改修するとかは、広さなどの問題もあるから工夫は必要と思う。
- ・障害者の芸術活動の推進に関しては、法律もできそれに対する対応も課題とは思いますが、ハードについては難しいところもあるので、検討する必要がある。
- ・子どもが小さい頃から多様性を学ぶことも大事だが、大人が改めて、凝り固まった感覚を戻すためには、いろいろな多様性を知るということで、障害のある方とのワークショップも考えてもらえるとうれしい。
- ・子どもの文化権の保障と言うが、**大人にも文化権**がある。